

十七文字の抒情詩

いつの間にか、春・そして風が心地よい五月です。
それなのに、急に真夏日になったかと思うと雹が降り
竜巻が猛威をふるう。
地球が何か悲鳴をあげているような気がします。
皆様の所はいかがですか？

今回もうさおさん、健さんから投句を頂きました。
まずうさおさんの句から拝見しましょう。

幹に咲く桜の古木劫を経て

長い年月を経た桜はどこか妖艶・・・枝ではなく幹に咲く花、
どんな感じなのだろうと空想します。良い句です。

*劫を経て幹に花咲く古木かな

花見とて夕餉の宴の老いた友

友人と花見と称して夕餉・・・飲み会でしょうか。
老いたといってしまうと、古くからの友と言う位が良い
と思います。*古の友と一献夕桜

桜より人の多さに歩を停めて

どこも人が一杯でしたね。花疲れという季語を有効に
使われると面白くなりますよ。*花疲れ人人人に流される

いまひとつ心の沸かぬ花見かな

そうですね、私も同じでした。*胸の奥を見透かされさう花万朶

遅しく道に食み出す赤芽垣

赤芽垣って本当に勢いを感じますね。*勢ひは道にはみ出し赤芽垣

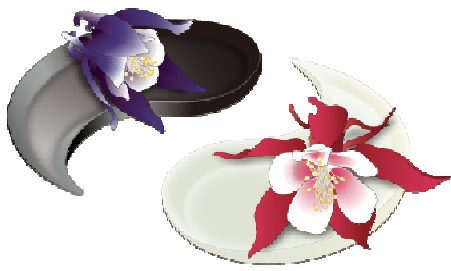
道渡る子らは新調ランドセル


良いのですが季語がありません。新調のランドセルで入学児と
わかるのですがやはりぴったりの季語を使いたいです。

*まああらし子のランドセル若葉風

続いて健さんの句です。

地下鉄の高架を走る四月馬鹿





四月馬鹿という難しい季語を高架を走る地下鉄と取り合わされた所がすばらしい。面白いです。

再会は果たせぬままに桜散る

ままや・・・とされるともう一つ句が広がるような気がします。

*再会は果たせぬままや桜散る

モノクロで撮す写真や昭和の日

モノクロと昭和って少し付きすぎな感じも・・・

反対に高画質な一眼レフとか（私は詳しくないのでよく解りませんが）を持ってくると面白いと思います。

*一眼レフの掌サイズ昭和の日・・・とか・・・

アクリルのらせん階段窓若葉

良いですね～季語と螺旋階段がぴったりきて情景が浮かびます。

在りし日のZARDを偲び五月来る

（5月27日が命日、2月～5月まで六本木でZARDギャラリーが開催されてます）

*在りし日を偲ぶギャラリー聖五月

意味は違って来るかもわかりませんが、読み手に想像の余地を与えるのも必要かと思います。

うさおさん、健さん、ありがとうございました。

お二人ともきちんと写生していらっしやるので感心しています。

ちょっとした場面を切り取り俳句にする。

写真と俳句って似てるんですよ。

気楽に場面場面を詠めば楽しいし、その時の様子が後々に俳句を読むたびに思い出されます。

これからも俳句楽しんで作って下さいね。

惜春や眼鏡探している夕べ

花薬に終の色香や納骨す ゆうこ

